

ムーブメント「クリック・クリック」実践講座

ムーブメント「クリック・クリック」とは

大人とのよい関係と様々な遊び体験は、社会で生きていくための諸能力の発達させるための土台になります。この発達の土台を築くために乳幼児期にたくさん経験したいことを、音楽と遊びにしたのがムーブメント「クリック・クリック」です。ダルクローズ(リトミック考案者)の「time・space・energy の調整」、エアーズの「感覚統合」、宇佐川 浩氏の「感覚と運動の高次化論」、フロスティックの「ムーブメント」などの、発達に関わる理論に基づき、発達初期の子どもや親子が楽しめる内容で構成されています。誰でも実践できる易しい方法ですが、指導者が「発達の視点」で子どもの姿を捉え、「人との繋がり」を意図して実践をすることで、発達支援としての専門的機能が高まります。

講座の流れ

1. プログラム例の体験

発達年齢 3 歳未満の子どもさん、または発達に凹凸が見られる子どもさん向けの親子で楽しむプログラムを、受講者の皆様に体験していただきます。

2. 交流会

プログラムの解説と質疑応答、また、受講者の皆様とアイデアを出し合いながら、様々な展開を一緒に考えていきます。

どなたでも受講できます

保育や療育に限らず、幼児教室や音楽教室などで子どもたちを指導される方、子育てサークルの保護者の皆様など、子どもに関わっていらっしゃる方ならどなたでも受講できます。

こども家族早期発達支援学会認定「発達サポーター」

実践講座と「発達サポーター」養成講座を一緒に受講されますと、子ども理解の理論とムーブメントとの繋がりがさらによく理解できます。理論を知ること、実践プログラムをご自身で広げていくことが可能になります。詳細は、HP をご覧下さい。

<http://supolabo-being.com/>

リトミックや音楽療法の 30 年以上の実践・研究をまとめました。音楽や造形、運動、遊びなど、指導者の経験や得意を活かして実践する創造的なムーブメントです。

発達の凸凹が心配される子どもが増えてきたと言われる今日、そのような子どもたちの発達の特性や過程を理解し、健やかな育ちをサポートしたり、周囲との関係を繋いでくれたりできる人たちの輪が、私たちの地域にも少しずつ広がってきました。子どもに関わるいろいろな立場の方々と研究し合って、よりよい実践を探究する場にしていきたいと考えています。

監修・講師

三宅 浩子 宮崎学園短期大学 保育科 教授

第一幼児教育短期大学、九州保健福祉大学などの保育者養成校各講師、札幌国際大学人文学部心理学科准教授を経て現職。

こども家族早期発達支援学会顧問 特別支援教育士(S.E.N.S)

早期発達支援コーディネーター 日本音楽療法学会認定音楽療法士